

民族文化の越境・接触・変化をめぐる 多角的研究を目指して

第一部 基調講演 「日本のバルカン地域研究の礎」 柴 宜弘 (城西国際大学)

采 且弘(城四国际人子) 三谷 惠子(東京大学) 鐸木 道剛(東北学院大学)



第二部 研究報告

「バルカン地域研究の新展開-理論と実践-」

鈴木 健太 (東京外国語大学) 門間 卓也 (東京大学・院)

上畑 史 (日本学術振興会)

村上 亮 (日本学術振興会)

木村 真 (日本女子大学)



「バルカンの民族文化の越境・接触・変化をめぐる諸問題」

中澤 拓哉 (東京大学・院)

岡野要(京都大学・院)

日高翠(日本学術振興会)

菅井 健太 (筑波大学)

山崎 信一(東京大学)

銑川 貴久(東京大学·院)



アドバイザー: 野町素己(北海道大学)

日時: 2018年 2月3日(土) 10:00~17:15

開催場所: 東京大学本郷キャンパス文学部法文2号館2番大教室

参加無料•予約不要

主催:地域研究コンソーシアム(JCAS)

共催:京都大学東南アジア地域研究研究所

後援:日本スラヴ学研究会

問い合わせ先: 岡野 要 (okanovickaname@gmail.com)







ワークショップ「バルカン地域研究の新展開―民族文化の越 境・接触・変化をめぐる多角的研究を目指して―」 プログラム

日時:2018年2月3日(土) 10:00—17:15

	場所:東京大学本郷キャンパス文学部法文2号館2番大教室
10:00—10:15	開会・趣旨説明
第一部 基調講	寅「日本のバルカン地域研究の礎」
司会:岡野 要 (京都大学・院)	
10:15—11:00	東京大学名誉教授・城西国際大学特任教授 柴 宜弘
	「日本におけるバルカン地域研究の発展と展望」
11:00—11:45	東京大学大学院人文社会系研究科教授 三谷 惠子
MA / 1 1 1 1 / 9/1	「V. ボギシッチの事績に見るバルカン地域研究の可能性」
11:45—12:30	東北学院大学文学部総合人文学科教授 鐸木 道剛
APAS BYEN	「セルビア近代イコンからバルカン地域研究へ」
12:30—13:30	昼食・休憩 (1 時間)
第二部 研究報告	
第一セクション「バルカン地域研究の新展開―理論と実践―」	
司会:菅井 健太 (筑波大学)	
13:30—15:05	鈴木 健太 (東京外国語大学)
A CONTACTOR	「21世紀における「バルカン」―地域をめぐる概念と認識」
MARKET A TOTAL	門間 卓也 (東京大学・院)
7 7 7	「戦間期クロアチア・ナショナリズムのバルカン概念を巡る政治性」
	上畑 史 (日本学術振興会/国立民族学博物館)
Manager 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「セルビアのターボフォーク/ポップフォーク:多元主義の実践とし
	ての音楽、文化、その変容」
	村上 亮 (日本学術振興会/京都大学)
_ O	「ガヴリロ・プリンツィプ像の過去と現在―英雄/テロリストの二分
0000000	法からの脱却に向けて」
	【討論者】木村 真 (日本女子大学)
15:05—15:20	休憩 (15分)
第二セクション「バルカンの民族文化の越境・接触・変化をめぐる諸問題」	
司会:銑	川 貴久 (東京大学・院)
15:20—16:55	中澤 拓哉 (東京大学・院)
- 6	「変容するニェゴシュ―南スラヴ人地域におけるペタル2世像」
	岡野 要 (京都大学・院)
	「バルカン的特徴の越境―ヴォイヴォディナ・ルシン語における接続
	詞 da の使用をめぐって」
	日高 翠 (日本学術振興会/東京藝術大学)
	「中世後期バルカン地域の教会堂壁画―技法と材料」
	菅井 健太 (筑波大学)
	「バルカンにおける言語接触と変化―ドナウ川を渡ったブルガリア人
1=k/a	移民のことばを中心に」
- 11.97/11.	【討論者】山崎 信一 (東京大学)
16:55—17:15	ワークショップ総括・閉会